

区分	分野	方針	具体的措置の名称 [赤字:優先度の高い事業]	関連する文化財	主体者						内容	(年次計画)				
					市	区	所有者	関係団体	事業担当者	住民		地域	学校	前期 報告年度 (2025-2027)	中期 報告年度 (2028-2031)	後期 報告年度 (2032-2034)
(D) ひろび	①市民協働による事業の継承と活用 ②文化財マネジメント人材の発掘・育成 ③文化財技能保持者の伝承・継承に向けた支援強化 ④民間の文化財保存・活用技術継承と資料確保の支援 ⑤学校教育・生涯学習との連携強化 ⑥地域活動者等と協働した保存・活用の実践	★新規 ★継続	①市史編さん事業成果の継承・移行	全	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			②文化財マネジメント人材の強化	—	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			③伝統芸能等の技術継承の支援	民俗芸能	●(文・関)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
			④民間技術者・資料確保の支援	指定登録	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
			⑤公民館「伝統芸能継承事業」	民俗芸能	●(文・生)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
			⑥文化財関係者ニーズ調査実施	全	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
			⑦文化財ボランティア活動者の支援・強化	—	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○
(E) まちづくり	⑧日本遺産「里沼」ランドナビゲーター育成 ①文化財を活かしたまちづくりの展開 ②民間活力獲得や資金調達手法の検討 ③国指定名勝「躑躅ヶ岡」周辺の再整備の推進 ④茂林寺沼南岸用地の利活用の促進 ⑤歴史的建造物の保存整備事業の推進 ⑥都市再生整備計画(館林駅東地区)との連携 ⑦保存活用を推進するための組織設置	★新規 ★継続	⑧「里沼」ランドナビゲーター育成支援	全	●(文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			①文化財を活かしたまちづくりの展開	—	●(文・企)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			②民間活力獲得や資金調達手法の検討	—	●(文・企)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			③国指定名勝「躑躅ヶ岡」周辺の再整備の推進	躑躅ヶ岡	●(文・観)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			④茂林寺沼南岸用地の利活用の促進	茂林寺沼	●(観・都)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			⑤歴史的建造物の保存整備事業の推進	旧二業見番	●(文・関)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
			⑥都市再生整備計画(館林駅東地区)との連携	建造物	●(区・文)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	
⑦保存活用を推進するための組織設置	全	●(文・関)	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○				

### [3] 保存・活用の実践

主体者欄：(文) = 文化振興課、(企) = 企画課、(市) = 市民協働課、(観) = 市民協働課、(商) = 観光課、(都) = 都市計画課、(区) = 区画整理課、(生) = 生涯学習課、(関) = 関係課